

裏路地探険

うだつ、越屋根、造り酒屋の煙突…

旧家が並ぶ閑静な町並みは

作家・山田風太郎が育った懐かしの風景

山田風太郎の故郷を歩く／養父市関宮

関宮という地名の発祥は1350年以上前までさかのぼる。その昔、西国で悪病が流行した際、天皇は都に病が入らないようこの地に宮を建て素戔鳴命を祭った。その功あつて病をせき止めたので、関宮という宮号になったのが今の関神社だそう。

関神社の境内は、その威厳を示すように大木が生い茂る。ひと際高くそびえるのは市の天然記念物に指定されているカヤの木。明治時代の道路工事で幹の一部が地中に埋まったというが、樹高は30メートルに達する勢いだ。本殿の横の順路に沿って、学問・商売・安産などの神を祭った小宮が並



記念館には自筆原稿や愛用品のほか、貴重な初版本や映画ポスターを収蔵。昨年は「甲賀忍法帖」を映画化した「忍-SHINOBI」を全国公開と同時に上映し、たくさんの方が訪れたそう。



酒屋の煙突がそくのどかな風景



「風太郎の会」会長の小谷稔さん。風太郎と同じ旧関宮小学校を卒業。風太郎は秀才との呼び声が高かったそう。



「風太郎の会」副会長の有本俱子さん。出石藩・仙石家の流れをくむ風太郎の家系など独自に研究されたことも、記念館に展示している。



(左)創業以来100年にわたり手づくりこだわった銀海酒造
(右)換気のために一段高く設けられた越屋根

ぶ。古くから村人の信仰が篤く、いつしかそれらの宮が増えていったという。

作家の故山田風太郎も幼い頃この神社を訪れることがあつただろう。祭りの時には境内で芝居が披露されることもあり、大人も子どもも楽しみにしていたそう。

地元・但馬でも意外と知られていないが、養父市関宮は忍法帖シリーズなどを執筆した山田風太郎（本名・山田誠也）の出身地。幼少期の十数年を過ごした生家を初め、ゆかりの建物が点在している。

平成15年にオープンした山田風太郎記念館は、彼の通った旧関宮小学校の跡地に建つ。当時運動場の隅に植えられたというイチヨウの木が今は大きく成長し、記念館を見下ろしている。

風太郎の家までは約200メートル。幾度となく往来した通学路を辿ってみる。道の脇にはきれいに積み上げられた石塀と細く延びる水路。造り酒屋の煙突がのどかな風景にとけ込む。生家の隣は明治創業の銀海酒造だ。

懐かしい旧家の並びには伝統的な越屋根造が見られる。かつてこの辺りには養蚕農家が多かったそ

特別企画展開催中 ●12月27日(水)まで

「山田風太郎と絵画」

作家になる前、すでに絵を描きすぎたためのペンダコがあった！それほど絵が好きで得意だった山田風太郎。その貴重な戦中・戦後の自筆スケッチや関連資料を一堂に展示。

第4回「風太郎祭」 10月15日(日)

- 風太郎ゆかりの地めぐり「母の里「諸寄」を訪ねるバスツアー」
- ミステリー評論家・新保博久氏の講演
- 参加申込は山田風太郎記念館まで

山田風太郎記念館

〒667-1105 兵庫県養父市関宮605-1
TEL・FAX/079-663-5522
<http://www.furea-i-net.tv/kazetarou/>
9:00～17:00(入館16:30) 月曜休館(祝日の場合は翌日)





関神社のカヤの木の樹齢は推定500年



うだつに虫齋の風太郎の生家



今では珍しくなった越屋根が何件も見られる

隣り合う風太郎の生家
(左)と銀梅酒造(右)は昔
のままの外観をとどめる



大正時代に建てられた木造校舎の
一部が残っている



関神社

八木谷川
かじかが棲むという清流

風太郎の通学路

山田風太郎記念館

関宮スナツ

国道9号線



関神社に並ぶ小宮。但馬牛を祭ったものも。



本殿と拝殿の彫刻は、大阪城や四天王寺にも作品
を残す柏原の中井権次橋正貞によるもの



風太郎の碑文を寄せた旧関宮小学校の創立百
周年記念碑。「記念館を訪れた人の中にはこの
碑まで足を運び人が度々あります」と風太郎
の会事務局長の有本正彦さんの説明。

平成15年に廃校と
なった関宮小学校

●裏路地探検隊員募集

平成18年10月7日(土)

「城崎・楽々浦を歩く」豊岡市城崎町

*実施日の10日前までに、18ページ掲載の
T2編集部へ、住所・氏名・年齢・電話番号・
「裏路地参加希望」とお書きの上、ハ
ガキでお申し込みください。開催は午前
中、現地集合・現地解散となります。申込
締切日後、案内を参加ご希望の方へ送付
致します。

うだ。うだつの上がつた格式高い
生家は、風太郎が5歳の頃に江戸
時代の陣屋跡から移築された。実
際の生家はその向かいに建ってい
た。山田家は代々続く医者の家系
で村の名家だったという。ほとん
ど消えかかっているが、玄関には今
も「山田醫(医)院」と書かれた当
時の表札が残っている。

晩年、「子どもの頃をよく思い出
す」とインタビューで語っていた風
太郎。幼い頃に両親を亡くし、故
郷に複雑な思いを抱いていたはず
だが、「何もないところなのによく
飽きもせず遊んだ」と懐かしく振
り返っていた。

当時とほとんど変わらない姿を
とどめる建物や通り、そして豊か
な自然。今も子どもたちの絶好の
遊び場が隠れている。

神秘のかめ壺が造る幻の芋焼酎。

「薩摩灯水」「美し里」「だれやめ」に、
気軽に飲めて味わい豊かな晩酌用！
「麦甘藷」「麦心」「栗隠れ」の仲間ができました！

他店では手に入らない
極上の清酒・焼酎が120アイテム

◆新焼酎店の方、品揃え応じます！
◆イベント・店名入り等、オリジナルカラーラベルが好評！

兵庫県豊岡市上野1060 TEL・FAX 079-664-2345

道の駅「但馬楽座」前

大型バス駐車可

冷えたビール
ジュースあります！

酒楽

各種試飲もできます。
ぜひお立ち寄りください。

